

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
さのたんプロジェクトBⅡ（佐野学：古民家の再生と利用） Area Study of Sano: Renovation and Utilization of Old Folk Houses		1年・2年	集中（後期）	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	実験実習	選択	（ボランティア科目であるので、積極的にフェイスブックの佐野日大短大「古民家の再生と利用」に投稿して、学校活動を広く知って	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
長江 庸泰 友松 篤信		本館2F (研究室1)	月～木曜 9:00～16:00 (授業・会議時間を除く)	授業中に指示します
授業の概要				
佐野には、活用されていない古民家が多数存在します。本実習では、こうした古民家を修復・保全し、地域経済の活性化につなげていく活動を企画、実践します。アウトレットは佐野市の税収には貢献しますが、地域の物産販売や観光振興などの面で地域経済にあまり結びついていません。一方、佐野に点在する貴重な地域資源、古民家を地域のヒト・モノ・カネと結びつけて再生していけば、佐野の経済、社会、歴史、文化に貢献することになります。				
授業の目標				
①旧吉澤邸の歴史と葛生の石灰業の発展との関係を理解して、人に説明できるようにする。 ②他の学生と協力して、清掃作業を行うことができるようにする。 ③清掃作業や聞き取り調査を行う中で、関係者と自由にコミュニケーションできるようにする。 ④旧吉澤家の再生や利用方法について自分の考えを持ち、人に説明できるようにする。				
授業の方法				
佐野市葛生の旧吉澤邸を清掃して利用できるようにする。明治に建てられた旧吉澤邸を葛生のヒト・モノ・カネと結びつけて再生、利用する案を提案する。				
学習の成果（学習成果）				
①旧吉澤邸と葛生の石灰業の発展との関係を人に説明できる、②他の学生と協力して清掃作業ができる、③フィールドワークの中で、必要に応じて学生や関係者と自由にコミュニケーションができる、④旧吉澤家の再生や利用方法について自分の考えを持ち、人に説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス：シラバスの解説 授業の狙いと進め方 成績評価 プレゼン レポート 場所：大学 実施9月30日（土）			
第2回目	葛生の見学（1）：栃木県石灰工業組合 集合9：40葛の里壺番館（佐野市葛生東1-13-3、東武佐野線葛生駅から徒歩10分） 実施10月21日（土）			
第3回目	旧吉澤邸の清掃（1）：旧吉澤邸（佐野市葛生東1-13-7） 実施10月21日（土）			
第4回目	旧吉澤邸の清掃（2）：旧吉澤邸 実施10月21日（土）			
第5回目	旧吉澤邸の清掃（3）：旧吉澤邸 実施10月21日（土）			
第6回目	葛生の見学（2）：吉澤記念美術館、葛生化石館、葛生市街 集合9：40葛の里壺番館（佐野市葛生東1-13-3、東武佐野線葛生駅から徒歩10分） 実施10月28日（土）			

第7回目	旧吉澤邸の清掃（４）：旧吉澤邸（佐野市葛生東1-13-7） 実施10月28日（土）
第8回目	旧吉澤邸の清掃（５）：旧吉澤邸 実施10月28日（土）
第9回目	旧吉澤邸の清掃（６）：旧吉澤邸 実施10月28日（土）
第10回目	葛生の見学（３）：まちづくり葛生株式会社 集合9：40葛の里壺番館（佐野市葛生東1-13-3、東武佐野線葛生駅から徒歩10分） 実施11月4日（土）
第11回目	旧吉澤邸の清掃（７）：旧吉澤邸（佐野市葛生東1-13-7） 実施11月4日（土）
第12回目	旧吉澤邸の清掃（８）：旧吉澤邸 実施11月4日（土）
第13回目	旧吉澤邸の清掃（９）：旧吉澤邸 実施11月4日（土）
第14回目	旧吉澤邸・利用計画の発表（１）：ワード/パワーポイント使用 集合9：40旧吉澤邸（佐野市葛生東1-13-7） 実施11月18日（土）
第15回目	旧吉澤邸・利用計画の発表（２）：ワード/パワーポイント使用 場所：旧吉澤邸 実施11月18日（土）

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	以下の3点から評価する：①フィールドワーク（積極性、理解度、協調性）、②コミュニケーション（聞く態度、対応力、論理性、質問力）、S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート	40%	Sのレポート（レジュメ）の評価：①吉澤家の歴史や地域への貢献を良くまとめている、②作業の過程とそこでの気付きを良くまとめている、③利用案に葛生の人たちを引きつける独自性と説得力がある。
調査報告書	なし	上記のレポート「旧吉澤邸の再生と利用」はワード（A4・3枚以内）で、11月30日（木）までに atsunobu.tomomatsu@sano-c.ac.jp に提出して下さい。
小テスト	なし	学生は毎回フェイスブックの佐野日大短大「古民家の再生と利用」に投稿して下さい。投稿するためには、自分のフェイスブック・アカウントから上記アカウントにメンバー申請をして下さい。
試験	なし	
発表内容（態度含む）	20%	Sの発表内容の評価：①作業過程をFBに分かりやすく毎回発表した、②利用案に葛生の人たちを引きつける独自性と説得力がある
その他		上記評価基準に基づき成績評価：S（傑出した内容）=90-100、A（平均を上回る内容）=80-89、B（平均的内容）=70-79、C（平均を下回る内容）=60-69、D（左記以外の内容）=0-59

教科書と参考図書

--

履修上の留意点・ルール

本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けましょう。